

研究実施のお知らせ

研究課題名：婦人科開腹術における全身麻酔併用硬膜外麻酔と単回末梢神経ブロックの比較検討（後ろ向き研究）

研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年12月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年6月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2022年4月より2023年6月までに、婦人科開腹術を施行した患者さん。

【研究の目的と意義】

婦人科開腹術において、全身麻酔と硬膜外麻酔併用が選択されることが多いですが、現在は全身麻酔と末梢神経ブロック併用も広く用いられています。今回、我々は婦人科開腹術において、硬膜外麻酔を併用した群と末梢神経ブロックを併用した群の術後の鎮痛に与える影響を調べることを目標としました。

【研究の方法】

患者さんの診療録等の診療情報を用いて、集計、単純な統計処理等を行う後ろ向き研究です。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢、性別、身長、体重、手術時間、麻酔時間、総医療用麻薬投与量、鎮痛への効果など）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が学会発表・論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できません。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 麻酔科

研究責任者 亀山良亘

麻酔科医長 安達厚子

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話：022-308-7111（代表）

